



ほけんだより



平成31年 3月



今年度も残すところあと1か月となりました。1年前を思い起こし子どもたちひとりひとりの表情、行動に、あらためて大きな成長を実感しています。みんな元気に新年度を迎えられるよう、最後のひと月、たいせつに過ごしましょう。



📌 3月3日は耳の日です 📌

「3」は耳の形に似ていることなどから、3月3日は耳の日とされています。ちょっとした不注意が、中耳炎、外耳炎の原因になる事もあります。小さいお子さんは耳の病気にかかりやすいので、日頃からお子さまの様子をよく観察するようにしましょう。

病的な嘔吐・下痢は、ほとんどの場合、ウイルスが原因です。中でもロタウイルスによるロタウイルス腸炎は注意が必要です。また、ノロウイルスやアデノウイルスも胃腸炎を引き起こすウイルスです。

これらのウイルス以外にもかぜ、突発性発疹、プール熱、インフルエンザなどにかかった時に、症状の一つとして下痢を伴う事があります。

○耳をつめで引っかいたり、たたいたり、強くたたいたりしない。

○鼻をかむときは、片方ずつかむようにする。

○耳の側で大きな音や声を出さない。

○鼻をすすらず、かむ習慣をつける。

★ お母さんはここに注意!! ★



嘔吐・下痢があるときは



脱水症にきをつけて!!

嘔吐や下痢の症状が続くと、体内の水分が休息に失われ、体の機能が正常に働かなくなります。これが脱水症といわれる症状です。おしっこの回数や量が減った、唇や肌が乾いてカサカサしている、泣き声が、弱々しくグッタリしてきた、などの様子が見られる時は、脱水症を起こしているおそれがあります。症状が進むと、けいれんを起こしたり、意識がなくなって昏睡状態に陥り、生命の危機も生じます。大至急、受診して下さい。



※先月は園でもA型インフルエンザが9名胃腸炎が5名出ています。

報告されている「インフルエンザ」と胃腸炎となるウイルス、主な症状、予防策を知って赤ちゃんや子どもを守りましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆



今月はウイルス性胃腸炎について



記載していきたいと思っております。

※急性嘔吐・下痢症（急性胃腸炎）胃や腸が炎症を起こして嘔吐や下痢に・・・

そのような症状が出る病気を総称して「急性嘔吐下痢症」とか「急性胃腸炎」などといいます。食欲がなくなり、腹痛、下痢、嘔吐などが見られます。

細菌による嘔吐下痢もあります。サルモネラ菌、カンピロバクター菌、腸炎ビブリオ、病原性大腸菌などによる食中毒が典型的なケースです。便に血液やうみが混じっていることがあります。腐ったようなきついにおいも細菌性の胃腸炎の特徴です。

